

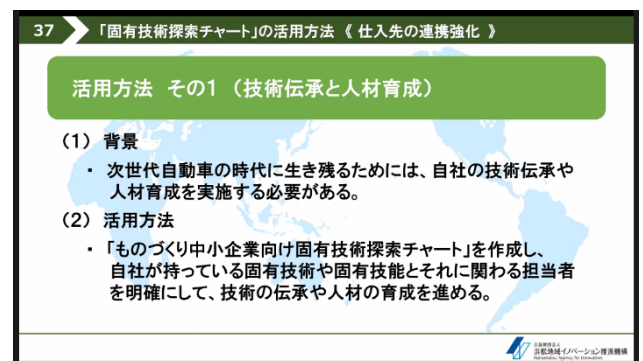
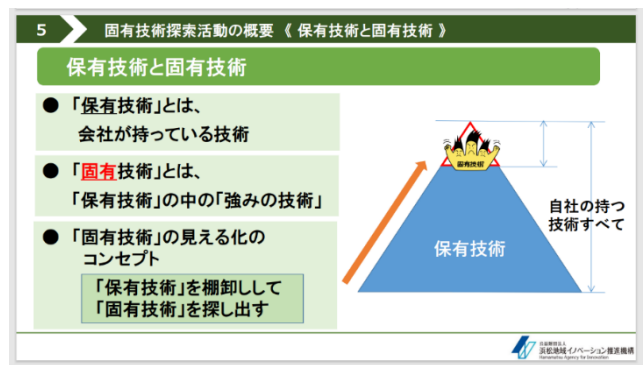
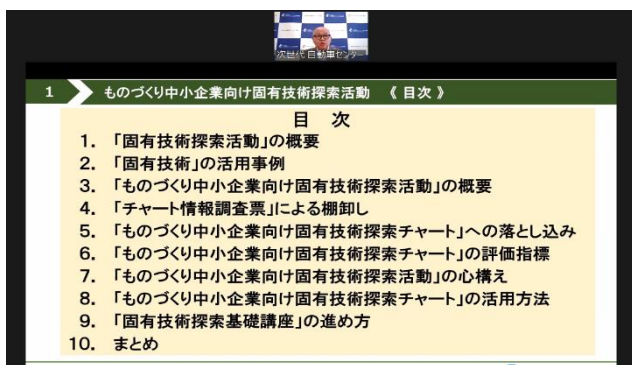
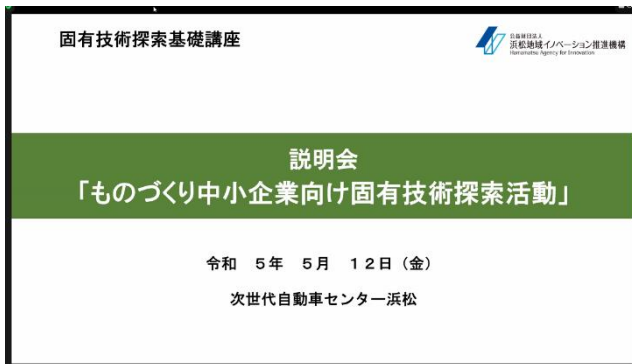
次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.179

■ 「ものづくり中小企業向け固有技術探索活動」説明会

会員企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術・技能」を認識し、活用して更にレベルアップを図るとともに、次世代自動車搭載部品の開発や生産性向上、品質改善などの現場改善に取り組むことにより「提案力向上」を目指して次世代自動車のビジネスを獲得することが重要です。

次世代自動車センター浜松は、今年度も「ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座」を開催するにあたり、その前段階として、望月センター長を講師として、固有技術探索活動の取り組みと探索チャートの作成方法などについての説明、基礎講座の日程を紹介する説明会をWeb形式で開催しました。

- 日 時 : 令和5年5月12日(金) 13時30分～14時30分
- 場 所 : Web形式
- 参加者 : 16社/25名



### 【参加者の声】

- ・固有技術と保有技術の違いについてわかりやすい説明でよかった。保有技術の棚卸しをして、より熟成させて固有技術をもった提案力のある会社に成長させることで、生き残りを図る必要性が理解できた。
- ・保有技術だけでなく、保有技能とその担当者を明確にすることが重要であり、弊社の場合は技術になるが、属人化している技術の洗い出しも必要であると感じた。
- ・深圳部品メーカーのように、自社の持つ強みを新たな商品へつなげることがこれからの企業に求められていくと感じた。また、そのために固有技術探索活動を進めていくことも重要だと感じた。
- ・管理手法、問題点の顕在化のためのツールとして有効であると感じた。
- ・同じ加工機で別の部品を作るということは具体的で分かりやすい。強みに基づいた提案の大事さ、人からシステムまで網羅する必要がある。
- ・固有技術探索活動を行うことによって、技術や技能の強みや弱みを見える化できるということが大変参考になった。
- ・誰でも手順に沿って自社の強み弱みをわかるところが参考になった。
- ・固有技術の探索が、自社のBCPや人材育成にも有効であることが理解できた。
- ・固有技術探索チャートを作成し点数付けをすることで、自社の強みと弱みも把握できて今後の改善点の見える化ができて、メンバーのモチベーションUP、会社の活性化になるのではないかと思った。
- ・従業員規模が20人ほどを対象とした活動例を話していただき、内容は理解しやすかった。また、概ね既に弊社で取り組み済みの内容もあり、内容について、理解しやすかった。